

エンジンオイルの話

気合入れすぎてちょっとボリューム多め(笑)



今日はエンジンオイルについて語るケロ

エンジンオイルの役割ってなーに？

色々役目はありますが、イチバン分かりやすいところで

エンジンをスムーズに動かすための潤滑剤

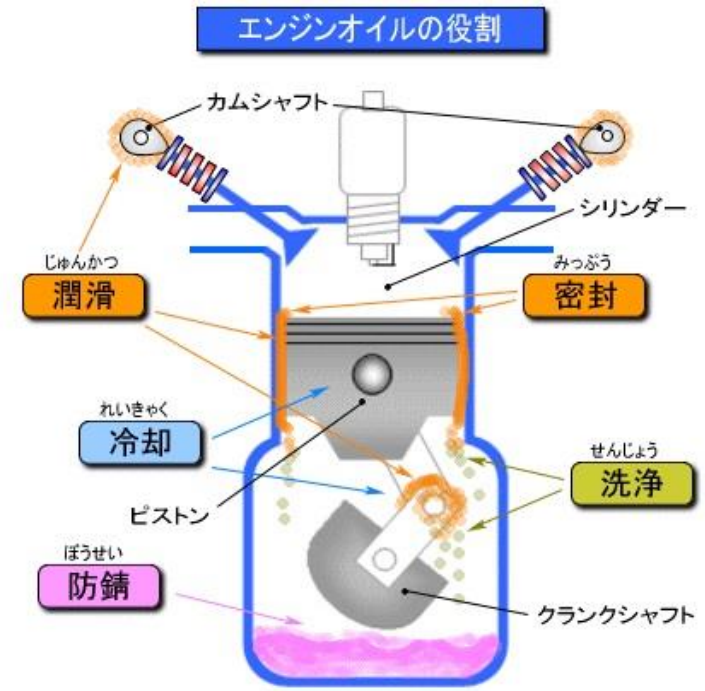
人間に例えると



心臓は血液がないと機能しないように、エンジンもエンジンオイルがないと機能しないからです！持ちつ持たれつの関係なんですね♪

エンジンオイルは『5つの役割』によって、エンジンの調子を整えています。
これを覚えて友達や家族に教えてあげよう(笑)

- ① 潤滑**
ピストンなど高速運動する機械の金属摩擦を減らしエンジンをスムーズに動かします
- ② 冷却**
最大約2000度にもなるエンジンの熱を冷却しオーバーヒートを防ぎます
- ③ 防錆**
エンジン内で発生する水分や酸から金属のサビや腐食を防ぎます
- ④ 密封**
ピストンとシリンダー(ピストンの筒)の間を、粘り気のあるオイルで膜を作り圧力が抜けるのを防ぎます
- ⑤ 洗浄**
シリンダー内のススや汚れを洗い落としエンジンをキレイに保ちます



オイル交換のタイミングは
5000キロ走行もしくは半年に1回

オイル交換をしないとどうなるの？

燃料の燃えカスや空気に触れることでオイルが酸化し、
エンジンの動きが悪くなる、燃費の悪化(車を動かすために余計な力を使うため)
オイル交換せずにそのままにしておくと**最終的にエンジンが壊れてしまう**ことも…！
そうならないためにも定期的なオイル交換をオススメしております。

あまり走らないからオイル交換しなくてもいいよね？

車をあまり動かさなくても空気や水分、熱などでオイルは酸化してしまいます。
そうすると**エンジンオイル本来の性能が発揮できなくなってしまいます。**
近距離の走行や、低速走行などはオイルへの負担が大きくなると言われています。
愛車を長持ちさせるためにも、**少なくとも半年に1回のオイル交換をオススメします。**